

# 明けまして ございます



市長 小畑 元

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

昨年は新世紀のスタートの年であり、市制施行五十周年を迎えた節目の年でした。そして家電リサイクル法の施行に伴い株式会社エコーサイクルが本格操業を開始し、循環型農業システムの構築のため大館市コンポストセンターもスタートしました。捨てる世紀からリサイクルする世紀への転換を始めた、いわば環境元年と言っても過言ではありません。

また、長年の懸案であった大館駅東大館駅間が二十二m道路で結ばれました。この開通により、利便性が増すばかりではなく、商業振興の面でも大きな役割を果たすと考えられます。

空前の失業率となった昨年、地域の経済状況は低迷し、事業所の閉鎖や縮小が相次ぎました。中でも正札竹村の倒産は、地域全体に計り知れない影響を与えました。しかし、商業施設での新規雇用があり、誘致企業の進出もありました。急ピッチで建設の進んでいる菱山製薬株式会社大館工場では、将来の雇用人数を五百人と見込

んでいます。

経済状況は全国的にデフレスパイラルに向かっていると思われれます。混とんとする中で、ともすれば目標を見失いがちですが、本市には明確な目標とそれを実現するための手段があります。「健康」と「環境」がそのキーワードです。「健康」が意味するものは、ニプロ、菱山製薬を始めとする健康に寄与する産業であり、「環境」が意味するものは、家電リサイクルを筆頭に、不用品をゴミとして排出するのではなく、資源としてリサイクルするための産業です。これらの産業は、単に市民生活の向上に繋がるばかりではなく、日本経済の発展に大きく寄与するものだと確信します。

今必要なことは雇用を創出することであり、その手段として、市の基幹産業である農林業の振興と共に、健康産業と環境産業を二本の柱として育てていきます。これからも雇用の創出、安定に向けて力の限り頑張りますので、市民の皆様のお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

